※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅰ	2	2	EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ Advanced　（数研出版）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・論理・表現Ⅰの授業では主に「話すこと（やり取り）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」の３つの領域の力を高めていくことを目標とします。
・１年次に学習した文法や語彙を用いて、自分の意見や主張を簡単な英語で表現できるように頑張りましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと発話される基本的な語句や表現からなる３文程度の英文の内容を的確に聞き取ることができる。	・基本的な語句や表現から構成される１～３文程度の英文を文法事項などの知識も活用して内容を的確に読み取り音読することができる。 ・日常生活で使われる簡単で短い文章の内容を理解することができる。	・基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることできないことなど日常的な事柄についてやり取りすることができる。	・前もって準備をした上で、決まった表現や形式を用いて自分や他人のことを紹介することができる。	・例を見ずに自分についての基本的な情報を書くことができる。 ・基本的な語や表現を用いて、身近なことについて箇条書きで複数の文を書くことができる。

３ 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの基本的な知識を身につけているとともに、これらの知識を目的や場面、状況などに応じた論理や展開で表現する技能を身につけている。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報を活用しながら、自分の意見や主張を英語で表現している。	英語で書かれた日常的な話題や社会的な話題に興味をもち、わからないことは自分で調べるなどして、積極的に学習を進めようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Lesson 1 “Introduce yourself to your class” Lesson 2 “How do you spend your weekends?”	聞くこと	a: 文型や時制を意識して、英語を聞き取ることができる。 b: 英語で行われる自己紹介を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 c: 英語で行われる自己紹介を聞き、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内での活動
		読むこと	a: 文型や時制を意識して、教科書の本文の内容を読み取ることができる。 b: 題材について書かれている短い英文を読み、概要や要点を捉えている。 c: 題材について書かれている短い英文を読み、概要や要点を捉えようとしている。	レポート 定期考査
		話すこと （発表）	a: わかりやすい表現を用いて、英語で自己紹介をすることができる。 b: 自身のことについて、文型や時制を意識しながら話している。 c: 自身のことについて、文型や時制を意識しながら丁寧に話そうとしている。	授業内での活動
		書くこと	a: 文型や時制の違いを理解している。 b: 自身のことについて、適切な文型で、物事の時系列に沿って英文を書くことができる。 c: 自身のことについて、適切な文型で、物事の時系列に沿って英文を書こうとしている。	レポート 定期考査
	中間考査			
	Lesson 3 “Where did you go on vacation?” Lesson 4 “How can I get there?”	聞くこと	a: 完了形や助動詞を意識して英語を聞き取ることができる。 b: スケジュールや道案内についての英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 c: スケジュールや道案内についての英語を聞き、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内での活動
		読むこと	a: 完了形や助動詞を意識して、教科書の本文の内容を読み取ることができる。 b: スケジュールや道案内について書かれた英語を読み、概要や要点を捉えている。 c: スケジュールや道案内について書かれた英語を読み、概要や要点を捉えようとしている。	レポート 定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 聞き返したりするなどの、コミュニケーションを円滑にするための言語の働きを理解している。 b: 自身の予定を紹介したり、地図を見て道案内したりするために、簡単な英語を用いて伝え合っている。 c: カレンダーや地図を聞き手に示しながら、聞き手が理解しやすいように工夫してコミュニケーションを進めようとしている。	授業内での活動
		書くこと	a: 完了形や助動詞の用法を理解している。 b: 自身の予定について、必要に応じて完了形や助動詞を用いて書いている。 c: 自身の予定について、必要に応じて完了形や助動詞を用いて書こうとしている。	レポート 定期考査
	期末考査			

※令和４年度以降入学生用

後期	Lesson 5 “Would you like to come with me?” Lesson 6 “Something really Japanese”	聞くこと	a: 助動詞や受け身の用法を理解し、英語を聞き取ることができる。 b: イベントや日本の文化についての英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 c: イベントや日本の文化についての英語を聞き、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内での活動
		読むこと	a: 助動詞や受け身の用法を理解し、教科書の本文の内容を読み取ることができる。 b: イベントや日本の文化について書かれた英語を読み、概要や要点を捉えている。 c: イベントや日本の文化について書かれた英語を読み、概要や要点を捉えようとしている。	レポート 定期考査
		話すこと （発表）	a: 助動詞や受け身の用法を理解し、話すことができる。 b: 日本の文化について、適切な表現を用いて発表している。 c: スライドや身振り手振りを活用して、聞き手が理解しやすいように配慮しながら発表しようとしている。	授業内での活動
		書くこと	a: 助動詞や受け身の用法を理解している。 b: 日本の文化について、自身の経験や思いを含んだ英語を書いている。 c: 日本の文化について、自身の経験や思いを含んだ英語を書こうとしている。	レポート 定期考査
	中間考査			
	Lesson 7 “Do you do any volunteer activities?” Lesson 8 “Let’s enjoy school life!”	聞くこと	a: 不定詞の用法を意識して、英語を聞き取ることができる。 b: ボランティア活動や学校生活についての英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 c: ボランティア活動や学校生活についての英語を聞き、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内での活動
		読むこと	a: 不定詞の用法を理解し、教科書の本文の内容を読み取ることができる。 b: ボランティア活動や学校生活について書かれた英語を読み、概要や要点を捉えている。 c: ボランティア活動や学校生活について書かれた英語を読み、概要や要点を捉えようとしている。	レポート 定期考査
		話すこと （やり取り）	a: これまでに学習した文法や語彙を用いて、伝えたい内容を表現することができる。 b: 思い出に残っている学校行事について、適切な表現を用いて伝え合っている。 c: やり取りを円滑にするために、自分に必要なメモを準備したり、聞き手が理解しやすいようにゆっくり話すなどの配慮をしたりしながら、コミュニケーションを進めようとしている。	授業内での活動 スピーキング テスト
		書くこと	a: 不定詞の用法を理解している。 b: 思い出に残っている学校行事について、簡潔にまとまりのある文章を書いている。 c: 思い出に残っている学校行事について、簡潔にまとまりのある文章を書こうとしている。	レポート 定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度